

【仮訳】

* あくまでも筆者作成の仮訳であり、
翻訳の正確性や内容には一切の責任を負いません。

中央銀行プレスリリース

2022年1月18日

スリランカ購買担当者景気指数 (PMI) - 2021年12月

12月 PMI は製造業・サービス業ともに上昇

2021年12月の製造業 PMI は、新規受注と生産の拡大を主因に前月比で上昇、58.1 を記録。雇用を除く全指標が上昇。

新規受注および生産の上昇は、特に食品・飲料製造業の季節的需要が牽引。繊維・アパレル製造業の新規受注と生産も改善したが、そのペースは緩やか。一方、雇用は前月比で下落。購買在庫は、新規受注と生産に比べて緩やかな増加。中国正月（春節）を前に在庫を大きく積み増したかったが、輸入関連の問題である程度までしか増やせなかったとの回答が多かった。

指標	11月	12月	+/-	概要
PMI	61.9	58.1	-	緩やかに上昇
PMI サブ指標				
新規受注	67.2	65.5	-	緩やかに上昇
生産	64.0	58.0	-	緩やかに上昇
雇用	52.7	48.0	-	上昇から下落
購買在庫	64.0	52.0	-	緩やかに上昇
サプライヤー納期	58.6	61.1	+	大幅に延期

一方、サプライヤー納期は大幅に延期。港湾の混雑による遅延、春節前の受注増加、国内原材料の不足などが主な要因。

今後3か月間の製造業事業活動への期待は、国内および世界経済の回復が継続すると見込まれ、高水準で推移。

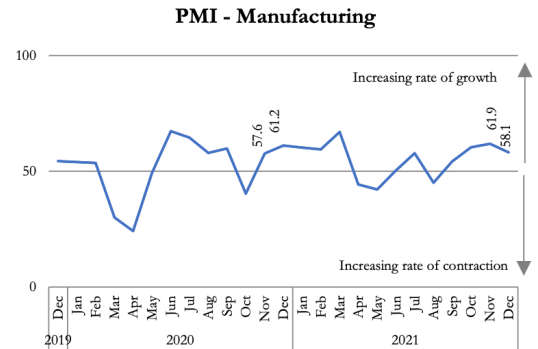
Manufacturing

PMI

Index Value

58.1

Decrease of
3.8 index points
compared to
November 2021



Source: Central Bank of Sri Lanka

世界概況：製造業 PMI

2021年12月のグローバルでの製造業 PMI は、前月と横ばいの54.2。2021年末の好転を維持。

製造業 PMI は、中国が2021年11月の下落からわずかに改善、シンガポールも上昇。一方、米国、ユーロ圏、英国、インド、ロシアは前月比で下落。

出展：Markit1 (2022年1月18日)

【仮訳】

* あくまでも筆者作成の仮訳であり、
翻訳の正確性や内容には一切の責任を負いません。

2021年12月のサービス業PMIは62.4と好調に推移し、年末に強い数字を記録。新規ビジネス、ビジネス活動、雇用、事業活動への期待の各指標で上昇。

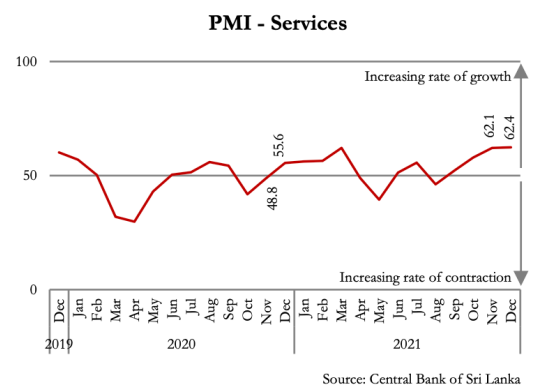
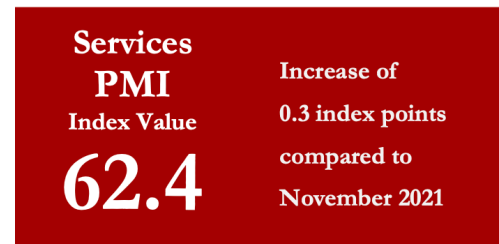
12月には新規ビジネスが前月比でさらに増加し、ほとんどのサブセクターで改善が見られた。

ビジネス活動は、経済活動正常化と年末年始祝祭シーズンを背景にした需要の継続的改善により、大きく上昇。このためビジネス活動のほとんどのサブセクターが上昇し、金融サービス業、運輸業、卸売・小売業、その他個人的活動事業で大きく改善。また、祝祭シーズンと外国人観光客の大幅な増加を背景に、宿泊業・食品・飲料業も大幅な上昇を記録。

雇用は、企業が好調なビジネス活動から引き続き雇用を拡大し、さらに上昇。一方、従業員の通常出勤が続き、業務滞留は減少が継続。

指標	11月	12月	+/-	概要
PMI	62.1	62.4	+	大幅に上昇
PMI サブ指標				
新規ビジネス	65.7	67.8	+	大幅に上昇
ビジネス活動	71.7	72.8	+	大幅に上昇
雇用	52.0	53.0	+	大幅に上昇
業務滞留	47.3	45.7	-	大幅に下落
事業活動への期待	74.0	72.8	+	緩やかに上昇

コロナウィルス感染対策の規制緩和への期待が浸透し、今後3か月間の事業活動への期待はさらに上昇。しかし、供給不足によるインフレ圧力やコロナウィルスの新たな変異型の影響など、厳しい経済環境から先行き不透明な状況が続いているとの声も聞かれた。



世界概況：サービス業 PMI

2021年12月の世界のサービス業PMIは、前月比1.0ポイント下落の54.6で、世界でのサービス活動の緩やかな拡大を示す。

2021年12月のサービス業PMIは、米国、中国、インド、日本、英国で前月比で拡大。

出展：Markit1 (2022年1月13日)